

※ 受理警察署	署						
※ 受理番号		※ 受理年月日		年	月	日	

※印欄は記入不要

護身用具を携帯して警備業務を実施する日の前日までに届け出る。

護身用具届出書

警備業法第17条第2項において準用する同法第16条第2項の規定により届出をします。

〇〇年 〇月 〇日

京都府 公安委員会 殿

届出者の氏名又は名称及び住所
 京都市〇〇区△△町1番地1
 □□警備保障株式会社 ⑧
 代表取締役 京都太郎

(フリガナ)		シ カ ク シ カ ク ケ イ ヒ ホ シ ョ ウ (K K)
氏名又は名称		□□警備保障
認定証を交付した公安委員会の名称		京都府 公安委員会
認定証の番号		0 0 0 0 0 0 0 0
護身用具	種類	別紙のとおり
	規格	別紙のとおり
	機能	別紙のとおり
	使用基準	別紙のとおり
	当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容	別紙のとおり

フリガナはカタカナで記入し、濁点は1文字と数える。姓と名は1マス空ける。
 なお、株式会社は「KK」、有限会社は「ユウ」と略記する。

2種類以上の護身用具を届け出る際には、記載例のとおり「別紙のとおり」と記入して、別紙1に護身用具の種類ごとに記載する。

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 「護身用具」欄には、護身用具の種類ごとに記載すること。
- 「規格」欄には、当該護身用具の大きさ、重さ、材質、構造等を記載すること。
- 「機能」欄には、当該護身用具についての用法、使用した場合の効果等を記載すること。
- 「当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容」欄には、当該警備業務の具体的な内容を記載すること。
- 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

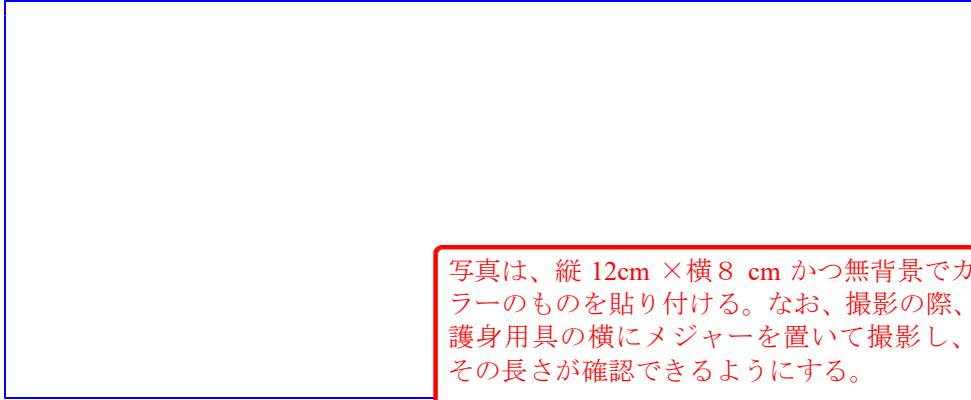
備考

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

護 身 用 具	種 類	木製警戒棒	護身用具の記載については、 各種類ごとに行う。
	規 格	材質＝木製 長さ＝60センチメートル 直径＝3センチメートル 重さ＝300グラム 形状＝円棒	
	機 能	防護に際し、不審者の腕、足等を打ち突きすることによって、相手の攻撃を中止させ、又は凶器等を打ち払い落とすなどの効果を有する。	
	使用基準	2名以下で行う夜間警備業務の際に携帯し、専ら護身の用に供する。	
	当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容	夜間の施設警備業務（2名以下に限る）	
	種 類	木製警戒杖	
	規 格	材質＝木製 長さ＝128センチメートル 直径＝2.8センチメートル 重さ＝600グラム 形状＝円棒	
	機 能	防護に際し、不審者の腕、足等を打ち突きすることによって、相手の攻撃を中止させ、又は凶器等を打ち払い落とすなどの効果を有する。	
	使用基準	警備業務に従事する際に携帯し、専ら護身の用に供する。	
	当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容	〇〇ビル 京都府〇〇市〇〇町1番地1 における施設警備業務	

護身用具の種類ごとに
写真が必要

木製警戒棒



写真は、縦 12cm × 横 8 cm かつ無背景でカラーのものを貼り付ける。なお、撮影の際、護身用具の横にメジャーを置いて撮影し、その長さが確認できるようにする。

木製警戒杖

